

個人教授 (1968)

La Leçon particulière
TENDER MOMENT

メディア 映画
ジャンル 青春 ロマン스
製作国 フランス
色彩 Color
時間 90分
初公開日 1969/04/26
公開情報 東和
リバイバル 1972/07 [東和]

【キャッチコピー】

愛は、いつも 哀しみをえらぶ…… ころを灼いて 恋は ふりむきながら 去ってゆく

【解説】

70年代初頭に、年上女性に恋するハイティーン少年という図式の映画がやたらと流行ったが、これはその火つけ役になった作品。主演のR・ヴェルレーは、日本でも一躍大人気となり、彼主演の日本映画まで作られた（市川崑監督の「愛ふたたび」）。18歳の高校生オリヴィエは、恋人のいる女性（N・ドロン）を愛するが、その恋人（R・オッセン）の彼女への想いを知り、自ら身を引く。古めかしいまでの物語を、ヴェルレーの青臭い持ち味を全面に出し、ボワロンがムード演出に手練を見せた佳篇。同じドロン主演の「新・個人教授」は、本作とは無縁の、ぐっとくだけたお色気もの。

【クレジット】

監督	ミシェル・ボワロン	Michel Boisrond	
製作	フランシス・コーヌ	Francis Cosne	
脚本	クロード・ブリュレ	Claude Brule	
	アネット・ワドマン	Annette Wademant	
	ミシェル・ボワロン	Michel Boisrond	
撮影	ジャン＝マルク・リペール	Jean-Marc Ripert	
音楽	フランシス・レイ	Francis Lai	
出演	ルノー・ヴェルレー	Renaud Verley	オリヴィエ・フェルモン
	ナタリー・ドロン	Nathalie Delon	フレデリク・ダンピエール
	ロベール・オッセン	Robert Hossein	エンリコ・フォンタナ
	ベルナルル・ル・コク	Bernard Le Coq	ジャン＝ピエール
	カティア・クリスチーナ	Katia Christine	クリスティーヌ
	マルティーン・サルセイ	Martine Sarcey	母